

# 盛岡市の有形文化財に指定されている「御蔵」 現在は「下町史料館」として活用されています

明治橋のたもとに佇む白壁の土蔵  
そこは「下町の小さな博物館」  
中に入れば江戸時代にタイムスリップ



「御蔵」は、盛岡藩の米の備蓄蔵として江戸時代に建築されました。約110坪の市内最大級の平屋の土蔵で、中央部に8角の棟持ち柱が建っています。

当時、北上川の新山舟橋（しんざんふなばし）たもとにあったことから、浸水・湿気を防ぐため高床式とし、屋根裏、壁は厚板で二重構造にし、通気を考えた米蔵として最適な工夫がなされています。

明治以降27か町の共有財産、市所有、売却等を変遷し、再び市が取得。現在は「下町史料館」として、新山舟橋ゆかりの史料や江戸時代からの庶民の日常生活用具等約1,000点が展示されています。

## 開館日…

4月～10月 第2～第4（土曜・日曜）

11月～3月 申込みに応じて開館。

開館日以外でも前日までに申込み見学ができます。

開館時間…10時から16時

見学料…無料

連絡先…019-651-5441  
(千葉さん)

